

令和 9 年度

編 入 学 試 験 要 項

法 学 部

経 済 学 部

経 営 学 部

理 工 学 部

建 築 学 部

文 芸 学 部

総合社会学部

情 報 学 部

農 学 部

生物理工学部

工 学 部

産業理工学部

この「編入学試験要項」には、
出願から入学手続完了までの
すべての事項を記載しています
ので、よく読んで必ず期限内に
手続きを完了してください。

目 次

1. 近畿大学教育方針について	1
2. 募集学部・学科・専攻・コースおよび人員、編入学年	6
3. 出願資格	7
4. 出願手続	9
5. 試験日時	13
6. 試験場・試験室	13
7. 選考方法	14
8. 試験時間割	16
9. 合格発表	17
10. 編入学手続	17
11. 編入学後の既修得科目の単位認定について	17
12. 入学辞退	18
13. 個人情報の保護	18
14. 理工学部、工学部受験希望の方へ	19
15. その他	20
16. 学費等一覧表	21
17. ノートパソコン必携化について	22
18. アクセスマップ	23

編入学試験要項

1. 近畿大学教育方針について

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的として掲げてきました。社会に貢献する実学の追求と人格の育成を基盤としたこの「建学の精神」と「教育の目的」は、知識基盤社会において、いっそう必要とされるものです。

本学が目指すものは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を追及するだけでなく、自分自身が人や社会に貢献できるかを考え、実践していくことです。そのため、学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働する態度」を身につけ、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格への成長を促進することを、近畿大学の教育方針とします。また大学を卒業した後も、生涯にわたって学び、社会を支える高い志をもつ学生を社会に送り出すことが、これからの時代に本学が目指す社会的使命です。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感する入学者を国内外から広く受入れます。本学では、専門領域及び国内外の伝統や文化を理解するための基礎学力を中核と位置づけます。この基礎学力をはじめ、自身の考えを論理的に表現する資質・能力、「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格を目指そうとする態度、社会貢献の意欲等を、多様な方式により確認し、一定の水準を満たす学生を受け入れます。

これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【法学部】

法学部は、近畿大学建学の精神に則り、法学部法律学科の教育目的を実現するため、その教育方針に則って法学部の授業を学び、法治社会の構成員である主体的・自律的に振舞うことのできる市民に成長して卒業していく学生を志すにふさわしい者として、以下に掲げる法律学科での履修に必要な基礎学力を有する入学生を求めています。

1. 社会の成り立ちと仕組みについて関心・知識を持ち、客観的に考察する意欲のある人。
2. 社会の課題を客観的に考え、解決の道筋を探る意欲のある人。
3. ものごとを論理的に考えることのできる人。
4. 規律を理解しこれに従って行動することのできる人。
5. 自然現象や環境について広く関心・知識を持つ人。
6. 社会の中で他者を思いやり、共に成長する意欲のある人。
7. 国際社会の一員として他国の文化を知り、その人々と交流する意欲のある人。

このような人材として、法学部法律学科に入学するまでに、次の教科・科目の内容の理解や素養・知識を有していることが望まれます。

高等学校主要教科：社会を形成する市民として求められる教養

- 地歴・公民：1) 社会の成り立ち、仕組みや課題についての客観的・批判的な考察
2) 公平・正義といった社会の指導的理念に基づいた論理的な思考
3) 社会にある規律の理解と遵守

数学・理科：自然現象・環境についての客観的な観察並びに論理的な思考

- 情報：1) 情報とその結びつきの観点に基づく事象の把握と表現
2) 情報とその結びつきの適切かつ効果的な活用

国語：同じく社会に生きる他者への配慮と意思の疎通

英語：外国の人々・文化・社会に対する関心と交流

法学部の入学選考では、多元的な評価尺度による入学試験を行ない、冒頭に述べた法学部法律学科での履修に必要な基礎学力を具えた多様な人材を受け入れることを目指しています。

1. 大学入学共通テストを利用する入学選考においては高等学校主要教科を重視し、公募制推薦入試においては数学、国語、英語（外部試験利用制度もあります。）、一般入試においては地歴・公民、数学、国語、英語に関する理解・知識等を測ります。
2. 指定校推薦、附属特別推薦やスポーツ推薦等の特別入試では、小論文や口頭試問等により上記の基礎学力を測ります。
3. 総合型選抜入試では、法・政治・国際社会への関心（課題発見を含む。）、公共性・協調性ならびに多様な社会経験・国際的視野について、書類選考（自己PR動画を含む。）ならびに口頭試問（集団討論を含む。）により基礎学力を測ります。

【経済学部】

経済学部では、本学の「建学の精神」と「教育の目的」に則り、人間が生きる上での基本となる経済活動と、そこから派生する様々な社会経済現象に通底する論理的・的確に読み解き、現代社会を生き抜く力を持った人材として活躍できる学生の育成を目指しています。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、

1. 人間・社会・経済に対する強い関心を持つ
 2. 日本語・外国語の読解力や論理的思考能力を中心とした基礎学力を有する
- 等の資質を有する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について、推薦入試、総合型選抜入試、一般入試、共通テスト利用入試、外国人留学生入試、編入学試験により確認します。これらのうち、経済学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。
- 1（知識・技能）経済学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
 - 2（思考・判断・表現）社会の課題について、経済学に関連する観点から考察することができる。
 - 3（主体性・意欲・態度）経済学の学修に関する意欲を有している。
 - 4（多様な価値観・異文化理解）多様な価値観や文化に対する関心を有している。

各教科については、以下の内容を理解し、能力を習得していることが求められます。

国語：日本語の基礎的な読解力、表現力、論理的な思考力

外国語（外部試験利用制度もあります）：外国語文献の読解力、異文化への理解

数学：論理的な思考力、数的な処理能力

理科：科学的な物の見方、社会を支える科学技術への関心

地歴・公民：歴史の大きな流れの理解、社会の基本的仕組みの理解

情報：情報化の進展に主体的に対応できる能力

【経営学部】

経営学部は、近畿大学の建学の精神と教育の目的、そしてディプロマ・ポリシーに則り、経営の中核を担う企画力と実行力をもつ人材を育成します。このために、次のような人を幅広く受入れます。

具体的には、カリキュラムの学修に必要な基礎学力や資質について、一般公募推薦入試、一般入試、総合型選抜入試等により確認します。経営学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

1 (知識・技能)

経営学を学修するために必要とされる基礎的な知識や技能を有している。

2 (思考・判断・表現)

経営に関する諸問題について、経営学に関連する観点から思考、判断、表現することができる。

3 (主体性・意欲・態度)

経営学の学修に対する意欲を有している。

各教科については、教科の内容を理解していることが求められます。

国語

日本語の読解力と論理的な思考力に基づいて、自らの考えを正確に表現する能力。

外国語

基礎的な語彙と構文を用いて比較的簡単な情報を理解し、自らの考えを正確に表現する能力。

地歴・公民

地理・歴史・公民の観点から社会の仕組みを捉え、考察する能力。

数学

物事を数学的に捉え、考察する能力。

情報

情報や情報技術を主体的に活用し、物事を考察する能力。

理科

自然現象を観察し、考察する能力。

経営学部は、一般公募推薦入試において、国語または数学、外国語を入試科目とすることで、日本語・外国語の読解力や論理的な思考力だけでなく、物事を数学的に捉えて考える能力を有する学生を求めています。一般入試においては、国語、外国語に加えて数学または地歴・公民を入試選択科目とすることで、日本語・外国語の読解力や論理的な思考力だけでなく、物事を数学的に捉えて考察する能力、社会を理解する基礎的知識と社会の仕組みを分析する基礎能力を有する学生を求めています。総合型選抜入試においては、経営学部のディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを理解し、入学後の明確な目的意識や学修への情熱といった、筆記試験では判定しにくい資質・能力を備えた学生を求めています。

これらの達成度については、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価します。

【理工学部】

理工学部は、近畿大学建学の精神に則り、実学教育のもと、社会に求められる創造性豊かな人材を育成します。学部教育の到達目標としてディプロマ・ポリシーを掲げ、これを達成するためのカリキュラムを提供することで、学生が国際化に対応できる学問的素養、適確な判断力、社会をリードする能力を伸ばすことを重視します。各学科への適性を兼ね備えた基礎学力をもつ生徒はもちろんのこと、変化する社会のニーズに応じて多種多様な能力と可能性をもつ入学者を受け入れます。具体的には、カリキュラム・ポリシーCP1、2、3.1、3.2に沿った教育課程にしたがって学修に励み、DP1、2、3を達成することができると期待される、次のような資質をもつ入学者を受け入れます。

1. 理工学部での履修に必要な基礎学力、思考力及び表現力を有し、学修の遂行に意欲をもつ人。

2. 社会への貢献、公共の福祉を理解し、これらを尊重することのできる倫理観をもつ人。

3. 知的好奇心があり、自然科学及び科学技術に対して強い関心を有する人。

4. 将来の目標を定め、目的意識と主体性をもち、多様な人々と協働して学修に取り組むことができる人。

本学部の入学試験では上記の人材を選抜するために、一般選抜における専門科目に関する学力試験、推薦選抜における口頭試問など多様な評価を複数の入学試験で適切な時期に行うとともに、高校時の学業成績なども踏まえ多元的な尺度で評価し、受験生が各自の適性に応じて適切な入学試験を選択できる機会を充分に提供しています。

また、理工学部に入學するまでに、次のようなことを身につけていることが望まれます。数学・理科については各学科コースのアドミッション・ポリシーをご参照ください。

国語: 日本語の読解力、表現力、論理的な思考力

外国語: 英語文章の大意を汲み取り、表現できる能力、平易な英語を聞きとる能力

数学: 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cのうち、当学部各学科・コースでの学修に必要な内容の基礎知識、計算能力及び論理的思考力

理科: 物理、化学、生物のうち、当学部各学科・コースの学修に関連する分野の基礎的知識、実験に基づく考察力及び計算力

地歴・公民: 社会の仕組みと変化する社会情勢に対応していくための基礎知識及び社会的素養

情報: 情報社会における情報収集、分析能力、判断力、対応力など情報処理に関する基本的なリテラシー

特別活動: 自主的、協調的な態度と社会への貢献及び公共の福祉と倫理観に関する基本的理解

これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

【建築学部】

建築学部は、近畿大学建学の精神に則り、従来の「つくる」ことを主たる目的とした建築学に加え、「守り・育てる」建築学を学ぶ場を提供し、実学教育によって、現代社会の課題を読み解き、その課題解決に貢献する新しい建築を創造する人材を育成します。このために、次のような人材を受け入れます。

「知識・技能」

・建築学の修得に必要な基礎学力を習得している人

・建築関連分野に対して幅広い興味・関心を持つ人

「思考力・判断力・表現力」

・社会における互いの多様な価値観を理解し、これらを尊重することのできる倫理観と国際性を持つ人

・地域環境・地球環境との共生の大切さを理解し、社会に貢献できる新たな技術を創造しようとするチャレンジ精神を持つ人

「主体性を持って多様な人々と協働する態度」

・謙虚に学ぶ姿勢を有し、自ら課題を発見し解決していく意欲にあふれる人

各教科については、以下の内容を理解していることが求められます。

国語

基礎的な日本語の読解力、表現力、論理的な思考力

外国語

目的に応じて情報を得ることができ、考えを正確に理解し、表現できる能力

数学

事象を数理的に考察し表現できる能力

理科
自然現象に対する科学的な思考・判断をするための基礎的知識
地歴・公民
変化する社会情勢に対応していくための歴史・風土・政治・経済に関する基礎的知識
特別活動
自主的、協調的態度と奉仕の心

近畿大学建築学部の入学試験では上記の人材を多面的な評価尺度で選抜するために、理系・文系を問わず受験可能な科目選択の方式を採用します。
また、高等教育レベルでの基礎学力に加え、建築に対する意欲・能力を評価することを目的として推薦入試を実施します。

【文芸学部】

文芸学部は、近畿大学の「建学の精神」、「教育の目的」に則り、それにふさわしい人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ人を入学者として受入れます。選抜の方法は、学科・専攻のアドミッション・ポリシーに則り、筆記試験と実技試験、口頭試問等によって、文芸学部で学ぶ意欲と能力を判定します。

1. (知識・技能)
文芸学部での学修に必要な基礎学力を持ち、言語・文学・歴史・文化・思想・芸術等、人間の文化的な営みを探究し、創造するための知識と技能を持つ人。
2. (思考・判断・表現)
新しい知識や技能を常に修得し、それに基づいて思考・判断・表現を行い、新しい創造と発見に向けて自らを琢磨する能力を持つ人。
3. (主体性・意欲・態度)
社会の中の一員としての責任を自覚し、公共的コミュニケーションを保ちつつ、主体性を持って多様な人々と協働し、社会に寄与する人格の形成を目標とする人。

また、文芸学部に入学者までに、以下のような科目を履修し、それぞれについて教科書に基づく知識を習得していることが望まれます。

国語
日本語の読解力・表現力・論理的思考力、古文の基礎的能力
地歴・公民
日本史、世界史、地理、政治・経済の基礎的知識
数学
数学Ⅰの基礎的能力
理科
物理・化学・生物・地学のいずれかに関する基礎的知識
芸術
音楽・美術・工芸・書道のいずれかを習得
外国語
英語のコミュニケーション・読解・表現についての基礎的能力
情報
パソコン基本ソフトの活用力

【総合社会学部】

本学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感し、総合社会学部のディプロマ・ポリシーに示したような人材になることを目指す次のような入学者を受入れます。

1. 大学での学びに展開できる確かな基礎学力を持った人。
2. 様々な社会問題や人間行動に関心を持っている人。
3. 新たな社会のあり方について関心のある人。
4. 自律的に課題を見出し、論理的・科学的に考えるための素地がある人。
5. 総合社会学部の学びについて十分な理解がある人。

なお、高校までの科目履修等によって以下のような能力を身につけていることが望まれます。

国語：論理的・構造的に思考するための読解力・表現力が身についている
地歴・公民：日本及び世界の情勢や地域特性について総合的に理解している
数学：データ等を用いて論理的・客観的に思考できる基礎的素養が身についている
外国語：基礎的な技能(読解能力、作文能力と会話能力)と語彙力が身についている
理科：人や社会と自然現象や生態系との関係を科学的に把握しようとする姿勢が身についている
情報：情報を科学的に理解する力と情報を活用する能力が身についている
特別活動：自主的に協調的な態度と環境やまちへの貢献及び利他的な姿勢を身につけている

【情報学部】

情報学部では、国際的に通用する高度な学問的素養を持ち、豊かな社会の実現に貢献し、社会的責任を有する自立した技術者の育成を目指しています。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、知的好奇心をもち、情報学術をベースとする工業製品あるいは社会システムへの応用に強い関心を有する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について面接、筆記試験により確認します。これらのうち、情報学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1 (知識・技能) 情報学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
- 2 (思考・判断・表現) 社会における情報技術の活用や、今後の発展が社会に及ぼす影響について考察することができる。
- 3 (主体性・意欲・態度) 目覚ましいスピードで発展を続ける情報技術を継続的に学修する意欲を有している。

各教科については、以下の内容を理解していることが求められます。

数学：数学的公理や定理を活用した推論能力、論理的思考力。
理科：自然現象を数式や化学式でモデル化する能力。
外国語：文法に則って英文の文意を正確に理解する能力。
国語：日本語の基礎的な読解力、及び論理的な記述力。
情報：情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する能力。
地理歴史：地理的・歴史的事象を多角的に理解し、地域や時代の背景から社会の変化を考察する能力。
公民：現代社会の制度や課題を理解し、社会の一員として多様な立場から論理的に判断する能力。

【農学部】

農学部では、近畿大学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感し、地球環境と生命現象に興味を持ち、暮らしに役立つ未来の技術を開拓し、グローバルな視野を持って社会に貢献しようとする人材を育成します。そして、学部の教育理念「積極的なチャレンジ精神を持ち、心豊かで社会に貢献できる人材を育成する」に基づき、社会的ニーズに対応した専門的知識と技術を修得し、豊かな倫理性・人間性を兼ね備えた実践的な人材を育成します。

このため、カリキュラム・ポリシーに示す教育プログラムを学修するために必要な適性を有する学生として、学力の3要素を踏まえて次のような入学者を受け入れます。

- 1 (知識・技能)
 - 1.1. 農学部での履修に必要な中核的な資質・能力としての基礎学力を持つ人。
- 2 (思考・判断・表現)
 - 2.1. 自分の行動に責任を持ち、福祉や科学倫理、科学技術への理解を深めることができる人。
 - 2.2. 課題に対して思考・判断し、自身の考えを論理的に表現する資質・能力を有する人。
- 3 (主体性・意欲・態度)
 - 3.1. 自然科学に対して強い知的関心を持つことのできる人。
 - 3.2. 「人に愛され、信頼され、尊敬される」人格を目指そうとする態度や、社会貢献の意欲を有する人。
 - 3.3. 将来の目標を定め、目的意識を持って学修に取り組む意欲のある人。

また、農学部に入学者までに次のような教科の内容を理解し、身につけていることが望めます。

国 語:読解力、表現力、作文力

外 国 語:英語の語彙力、基礎的な読解力、表現力、作文力

理 科:化学、生物、物理に関する基礎的な知識

数 学:基礎的な計算力と論理的な思考力

地理歴史:現代の社会を理解するために必要な知識と国際的な視野

情 報:情報技術を適切に活用してさまざまな情報を得るとともに、その情報の真偽を自分自身で判断できる能力

特別活動:自主的、協調的な態度と奉仕の精神、社会情勢への関心と対応力

農学部は、多様な学生を受け入れるため、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用方式、大学入学共通テスト併用方式、外国人留学生入試、編入学試験の6つの方法で入学者の選抜を行います。推薦入試では、一般公募推薦入試に加え、指定校推薦入試と専門高校・専門学科・総合学科等を対象とする推薦入試を実施しています。

一般公募推薦入試以外の推薦入試、外国人留学生入試、編入学試験では、口頭試問を課し、幅広い分野から多様な能力を有した学生を求めます。

一般公募推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト併用方式では、近畿大学の個別学力試験を課しています。また、大学入学共通テスト利用方式、大学入学共通テスト併用方式では、大学入学共通テストを課しています。これらの入試では、高い基礎学力を有した学生を求めます。

なお、農学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

【生物理工学部】

生物理工学部では、「建学の精神」と「教育の目的」に基づいて、生命科学与理工学の学際分野の教育研究を通じて、学力の3要素(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働する態度」)を備えた学生を育成し、社会に送り出すことを目標としています。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有する学生を受け入れます。

推薦入試では、個別学力試験として英語と選択科目(数学・理科から1科目選択)を課し、高等学校での学習達成度を確認します。

前期(A日程)、前期(B日程)、後期の3つの一般入試では、それぞれ個別に学力試験として英語、理科、選択科目(数学・国語から1科目選択)の3科目を課し、基礎学力と論理的思考力を確認します。

共通テスト利用方式(前期・中期・後期)では大学入学共通テストの英語、国語、数学、理科、地歴・公民、情報から2、3あるいは5科目を課し、基礎学力の学習達成度を確認します。

共通テスト併用方式では、大学入学共通テストの英語、国語、数学、理科、情報より高得点科目として2科目[共通テスト併用方式(A日程)]、2科目[共通テスト併用方式(B日程)]あるいは1科目[共通テスト併用方式(後期)]を利用し、本学の個別学力試験を加えて、自然科学に関する幅広い知識と論理的な課題解決能力を確認します。

本学部の選定基準に達する高校を対象とした指定校推薦入試では、口頭試問により、自然科学に対する高い関心・学修意欲、論理的思考力、表現力などを確認します。

総合型選抜入試では、多面的、総合的な評価により、能力、適性、意欲を確認します。

専門高校、専門学科・総合学科等の学科を対象とする推薦入試では、小論文と口頭試問により、学修意欲、論理的思考力、特別活動・課外活動などを確認します。

留学生入試では理科の基本的な学力と日本語運用能力を確認します。

生物理工学の学修に必要な以下の基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1 (知識・技能) 生物理工学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
- 2 (思考・判断・表現) 社会の課題について、生物理工学に関連する観点から考察することができる。
- 3 (主体性・意欲・態度) 生物理工学の学修に関する意欲を有している。

また、各教科に関しては、以下の資質を有していることが求められます。

国 語:国語を適切に用いて自分の考えを的確に伝える能力と、文章を論理的に正しく読み解く能力

外 国 語:英語を用いて情報や考えなどを理解し伝える基礎的な能力と、積極的にコミュニケーションを図る態度・姿勢

数 学:数学における基本的な概念や原理を理解し、数学的な見方や論理的な考え方を身につけて、積極的に活用する能力

理 科:自然に対する関心や探究心があり、観察や実験などを通じて、人間と自然のかかわりや生物とそれを取り巻く環境について総合的に考察する能力

地歴・公民:世界の生活・文化の歴史的・地域的特色について理解し、社会の一員として主体的に生きる自覚と態度・姿勢

情 報:情報に関する科学的な見方・考え方を有し、情報化の進む社会に積極的に参画することができる能力

これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

【工学部】

工学部では、近畿大学建学の精神に則り、持続可能な社会を築くための技術者・研究者の育成を目指しています。そのために提供するカリキュラムの学修に必要な基礎能力を有するとともに、高い人格と倫理観や国際化時代を生き抜く力を有する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について総合型選抜、学校推薦型選抜、一般公募推薦、一般入試、共通テスト利用方式、共通テスト併用方式、外国人留学生入試、編入学試験により確認します。これらのうち、工学の学修に必要な基礎学力については、全ての入試制度で確認します。

- 1 (知識・技能) 工学の課程を学修するために必要な基礎的な知識や技能を有している。
- 2 (思考力・判断力・表現力) 社会における多様な価値観を理解し、尊重できる倫理観を有している。
- 3 (主体性・意欲・態度) 工学の学修に関する意欲、新たな技術を創造しようとするチャレンジ精神、国際的な視点に立って行動しようとする意欲を有している。

各教科については、以下の能力を身につけていることが求められます。

国 語:基礎的な日本語を読み解き、適切に表現し、論理的に思考することができる能力

外 国 語:基礎的な語彙と構文を理解し、自身の考えを表現することができる能力

数 学:数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列)、数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)の内容を理解し、事象を数学的に表し、問題解決できる能力

理科:「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」の内容を理解し、自然現象を科学的に説明することができる能力
地理歴史・公民:「歴史総合、世界史探究」「歴史総合、日本史探究」「地理総合、地理探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」の内容を理解し、それぞれの分野から社会を考察することができる能力
情報:「情報Ⅰ」の内容を理解し、適切に活用することができる能力

これらの達成度は、別に定めるアセスメントプランで示す方法によって評価を行います。

【産業理工学部】

産業理工学部は、本学の建学の精神と教育の目的に則り、文理協働の発想に根ざした高いコミュニケーション能力と自ら課題を発見し解決策を見出していく能力を身につけ、社会で「フロンティア人材」として活躍できる学生の育成を目指しています。そのため、提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力等の能力を有する学生を受け入れます。具体的には、以下に定める資質・能力について多様な入試制度により確認します。これらのうち、産業理工学部の学修に必要な基礎学力(知識・思考・判断)については、全ての入試制度で確認します。

- 1 (知識・技能) 産業理工学部の課程を学修するに当たって必要となる、自然科学や人文・社会科学の基礎知識や技能を有している。
- 2 (思考・判断・表現) 新たなテクノロジーやイノベーション、世界の動向などに強い関心があり、専門分野に偏ることなく幅広い観点から考察することができる。
- 3 (主体性・意欲・態度) 実学教育と文理協働の発想に基づく教育に共感し、大学で学んだことを生かして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有している。

(入学前に学習すべきこと及び各教科に求められる理解内容)

高等学校で学ぶ数学、国語、外国語はすべての分野に通じるので、十分な基礎学力を身につけておいてください。理科、地理歴史・公民、情報については、専門分野と関係のある科目を中心に応用力も磨き、専門分野と直接関係の無い科目についても多様性を広げ世界の動向を理解するのに役立つので興味を持って学習してください。また、思考力、判断力、表現力を身につけるとともに、物事に対する探究心と主体的に問題を解明・解決する姿勢を養ってください。

各教科では、以下の内容を理解していることが求められます。

国語

- ・社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に利用できる能力。
- ・他者との間での確に伝え合い、思考し想像できる能力。

外国語

- ・外国語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる能力。
- ・日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解し適切に表現することができる能力。

数学

- ・数学における基本的な概念や原理・法則を理解できる能力。
- ・物事を論理的に考察し、その本質や他との関係を数学的に表現・処理する能力。

理科

- ・自然現象についての理解を深めるために必要な観察、実験などを行う能力。
- ・見通しを持って観察や実験などを行い、科学的に探究することができる能力。
- ・自然の事物・現象に関係する科学の法則や原理を利用することができる能力。

地理歴史・公民

- ・日本と世界の歴史、及び現代の倫理・政治・経済の仕組みを理解するとともに、資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる能力。
- ・地理や歴史的出来事の意義、及び相互の関連を多面的に考察し、効果的に説明することができる能力。
- ・現代社会の問題について、多面的に考察し公正に判断する力や社会参画を視野に入れて議論することができる能力。

情報

- ・情報社会と人との関わりを理解し、情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決することができる能力。
- ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる能力。

(入学選抜の基本方針)

産業理工学部では、提供するカリキュラムの学修に必要な基礎学力を有するとともに、各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力等の能力を有する人材を選抜するために、多様な入試制度を設けています。

- 1 推薦入試(一般公募)では、個別学力検査において外国語、及び数学もしくは国語からの1教科(計2教科)選択によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価します。
- 2 一般入試では、個別学力検査において外国語、数学もしくは国語、及び理科(物理、化学、生物)もしくは地理歴史(世界史、日本史、地理)からの1科目(計3教科3科目)選択によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価します。
- 3 共通テストを利用した共通テスト利用方式では、外国語、国語、数学、理科、地理歴史、公民、情報の試験結果よりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価します。また共通テストと本学一般入試から各2科目の成績を選択し評価する共通テスト併用方式による判定も行っています。
- 4 総合型選抜では、教科に関する筆記試験によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価し、口頭試問もしくは課題に対するプレゼンテーション及び出願書類によって、多面的、総合的に各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を有している人を選抜します。
- 5 その他の推薦入試(学校推薦型選抜)では、出願書類によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価し、口頭試問により各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を有している人を選抜します。
- 6 スポーツ推薦入試では、高等学校長が提出した調査書等の書類によりカリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価し、技能試験と口頭試問により当該スポーツ種目(硬式野球)に関する技能・実績と当該学科(経営ビジネス学科)で学ぶ意欲を有している人を選抜します。
- 7 外国人留学生入学試験では、日本留学試験の活用と口頭試問によって、カリキュラムの学修に必要な基礎学力を評価し、口頭試問により専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を有している人を選抜します。
- 8 編入学試験では、大学をはじめとする出願資格に定める各種学校が発行した成績証明書等により専門分野に関する科目の修得状況に加え、編入志望学科が定める専門分野の科目の筆記試験によりカリキュラムの学修に必要な学力を評価し、口頭試問により各専門分野を学ぶ意欲と思考力、判断力、表現力を有している人を選抜します。

2. 募集学部・学科・専攻・コースおよび人員、編入学年

(1) 募集学部・学科・専攻・コースおよび人員

学 部	学 科 ・ 専 攻 ・ コ ー ス		人 員
法 学 部	法 律 学 科※ ¹		1 0 人程度
経 済 学 部	経 済 学 科		1 0 人程度
	国 際 経 済 学 科		
	総 合 経 済 政 策 学 科		
経 営 学 部 〔学内入学選考〕 〔一般入学選考〕	経 営 学 科	(企業経営コース)	1 5 人程度
		(I Tビジネスコース)	
	商 学 科	(マーケティング戦略コース)	1 5 人程度
		(観光・サービスコース)	
		(貿易・ファイナンスコース)	
	会 計 学 科		1 0 人程度
キャリア・マネジメント学科		1 0 人程度	
理 工 学 部	理 学 科	数学コース	3 人程度
		物理学コース	
		化学コース	
	生 命 科 学 科		3 人程度
	応 用 化 学 科※ ²		3 人程度
	機 械 工 学 科	知能機械システムコース	3 人程度
	電 気 電 子 通 信 工 学 科	総合エレクトロニクスコース※ ²	3 人程度
		電子情報通信コース※ ²	
	社 会 環 境 工 学 科※ ²		3 人程度
エネルギー物質学科		3 人程度	
建 築 学 部	建 築 学 科		3 人程度
文 芸 学 部	文 学 科	日本文学専攻(創作・評論コース) (言語・文学コース)	3 人程度
		英語英米文学専攻	
	芸 術 学 科	舞台芸術専攻	3 人程度
		造形芸術専攻	
	文 化 ・ 歴 史 学 科		3 人程度
	文 化 デ ザ イ ン 学 科		3 人程度
総 合 社 会 学 部	総 合 社 会 学 科	社会・マスメディア系専攻(現代社会コース)	3 人程度
		心理系専攻	3 人程度
		環境・まちづくり系専攻	3 人程度
情 報 学 部	情 報 学 科	知能システムコース	5 人程度
		実世界コンピューティングコース	
農 学 部	農 業 生 産 科 学 科		3 人程度
	水 産 学 科		3 人程度
	応 用 生 命 化 学 科		3 人程度
	環 境 管 理 学 科		3 人程度
	生 物 機 能 科 学 科		3 人程度
生 物 理 工 学 部	生 物 工 学 科		3 人程度
	遺 伝 子 工 学 科		3 人程度
	食 品 安 全 工 学 科		3 人程度
	生 命 情 報 工 学 科		3 人程度
	人間環境デザイン工学科		3 人程度

工 学 部	化学生命工学科※ ² （化学・生命工学コース、環境・情報化学コース、医・食・住化学コース）	3人程度
	機 械 工 学 科※ ² （機械設計コース、エネルギー機械コース）	3人程度
	ロボティクス学科（ロボット設計コース、ロボット制御コース）	3人程度
	電子情報工学科（電気電子コース、情報通信コース）	3人程度
	情 報 学 科※ ² （情報システムコース、情報メディアコース）	3人程度
	建 築 学 科※ ² （建築学コース、インテリアデザインコース）	3人程度
産 業 理 工 学 部	生 物 環 境 化 学 科	5人程度
	電 気 電 子 工 学 科	5人程度
	建築・デザイン学科	5人程度
	情 報 学 科	3人程度
	経営ビジネス学科	5人程度

※1 法学部の志願者は、専攻プログラム（犯罪・非行と法、経済生活と法、会計・税務と法、まちづくりと法）のみ志望することができます。（法曹・行政・国際の各コースは志望することができません。）

専攻プログラムは、合格発表後、合格者に対し、編入学手続の際に専攻プログラムを選択していただきます。

出願時には、編入学志願票に専攻プログラムを記入しないでください。

※2 JABEE認定プログラム（あるいはそれに準じた教育プログラム）を実施しています。

これらの学科・コースを志願する場合は19～20ページの「JABEEプログラムについて」を参照してください。

（2）編入学年

原則として第3学年としますが、次の点にご留意ください。また、下記以外の学部・学科・専攻においても選考の結果その学年での許可にならないことがあります。

- ① 総合社会学部総合社会学科心理系専攻および産業理工学部生物環境化学科では、第3学年進級に必要な科目を修得していなければ、第3学年に許可されない場合があります。
- ② 理工学部、建築学部、文芸学部、情報学部、農学部、生物理工学部、工学部および産業理工学部では、シラバスに基づいて単位認定を行いますので、認定される単位によっては第3学年に許可されない場合があります。（17ページの「11. 編入学後の既修得科目の単位認定について」を参照）

出願する前に必ず出願予定の各学部（各キャンパス）学生センターへお問い合わせください。

3. 出願資格 次の各項のいずれかに該当する者としします。本学学部の在学生については、令和9年3月卒業見込みの者に限り、出願可能です。

※卒業見込みで出願し、編入学試験に合格した者が、期日までに卒業証明書を提出しない場合は、合格を取り消します。（詳細は20ページ「15. その他」を参照してください。）

法 学 部 ・ 経 済 学 部 ・ 経 営 学 部〔一般入学選考〕・ 文 芸 学 部 ・ 総 合 社 会 学 部

- （1）学士の学位を有する者。
- （2）4年制大学の2年次以上修了（見込み）の者で、62単位以上を修得（見込み）の者。（注1）
- （3）短期大学または高等専門学校卒業（見込み）の者、その他同等以上の学力を有する者。
- （4）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。
- （5）専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

※経営学部、文芸学部海外の高等教育機関から出願する場合は、事前に各学部学生センターに相談のうえ、出願資格審査を受けてください。

経 営 学 部〔学内入学選考〕

- （1）本学短期大学部（通学課程、通信課程）を卒業見込みの者。

理 工 学 部 ・ 情 報 学 部

- （1）4年制大学（6年制大学）の理工系学部・学科を卒業した者、または2年次以上修了（見込み）の者で、62単位以上を修得（見込み）の者。（注1）
- （2）理工系短期大学卒業（見込み）の者。
- （3）工業系高等専門学校卒業（見込み）の者。
- （4）高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。
- （5）理工系専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了（見込み）の者。

建 築 学 部

- (1) 4年制大学(6年制大学)の理工系学部・学科を卒業した者、または2年次以上修了(見込み)の者で、62単位以上を修得(見込み)の者。
- (2) 理工系短期大学卒業(見込み)の者。
- (3) 工業系高等専門学校卒業(見込み)の者。
- (4) 高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の理工系課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。
- (5) 理工系専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。

※海外の高等教育機関から出願する場合は、事前に建築学部学生センターに相談のうえ、出願資格審査を受けてください。

農 学 部

- (1) 4年制大学(6年制大学)の第2学年修了(見込み)の者で62単位以上を修得(見込み)の者。(注1)
- (2) 短期大学または高等専門学校卒業(見込み)の者。
- (3) 高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。
- (4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。

生 物 理 工 学 部

- (1) 4年制大学(6年制大学)を卒業した者、または第2学年修了(見込み)の者で62単位以上を修得(見込み)の者。短期大学または高等専門学校卒業(見込み)の者。(注1)
- (2) 高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。
- (3) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。

工 学 部

- (1) 4年制大学(6年制大学)の理工系学部・学科を卒業した者、または2年次以上修了(見込み)の者で、62単位以上を修得(見込み)の者。(注1)
- (2) 理工系短期大学卒業(見込み)の者。
- (3) 工業系高等専門学校卒業(見込み)の者。
- (4) 高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。
- (5) 理工系専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。

※上記(4)により出願を希望する場合は、事前に広島キャンパス学生センターに相談してください。

産 業 理 工 学 部

- (1) 4年制大学(6年制大学)を卒業した者、または2年次以上修了(見込み)の者で、62単位以上を修得(見込み)の者。(注1)
- (2) 短期大学(通信教育を行う学部を含む)を卒業(見込み)の者。
- (3) 高等専門学校卒業(見込み)の者。
- (4) 高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込み)の者。

(注1) 法学部、経済学部、理工学部、総合社会学部、情報学部、農学部、生物理工学部、工学部、産業理工学部において、出願資格における大学とは、日本の法律(学校教育法等)に基づくものを指し、外国の大学やその日本校は出願資格がありません。

4. 出願手続

(1) 出願期間

法 学 部	令和8年 10月 5日 (月) ～ 10月14日 (水)
経 済 学 部	令和8年 8月26日 (水) ～ 9月 2日 (水)
経 営 学 部 [学内入学選考・一般入学選考]	
理 工 学 部	令和8年 9月17日 (木) ～ 9月25日 (金)
建 築 学 部	
文 芸 学 部	令和8年 9月 1日 (火) ～ 9月11日 (金)
総 合 社 会 学 部	令和8年 9月17日 (木) ～ 9月25日 (金)
情 報 学 部	
農 学 部	
生 物 理 工 学 部	令和8年 8月27日 (木) ～ 9月 4日 (金)
工 学 部	令和8年 9月 1日 (火) ～ 9月 9日 (水)
産 業 理 工 学 部	令和8年 9月17日 (木) ～ 9月25日 (金)

(2) 出願方法

振込依頼票を印字のうえ、入学検定料を銀行振込し、下記の出願書類を郵送してください。出願は郵送に限ります（出願締切日消印有効）。学内併願をする場合、出願書類および入学検定料は、それぞれ個別に必要です。出願書類は、志望学部ごとに封筒を準備し、郵送してください。

※経営学部のみ、上記書類とあわせて右記志願票フォームへの登録が必要です。



出願書類

①編入学志願票※（本学所定の書式） ※志望学部に専攻・コースがある場合は、必ず記入してください。

〔志願票記入上の注意〕

必ず受験者本人が記入してください。文字は楷書で丁寧に記入し、記入漏れのないように注意してください。黒インクのペンまたは、黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で枠内に濃く、はっきりと記入してください。修正する場合は、修正液または、二重線で消して書き直してください。

近畿大学通信教育部を卒業または卒業見込みの方は、出身学校欄に「通信教育部」を書きもれないようにご注意ください。

②卒業証明書

（卒業見込者は卒業見込証明書、在学中の者は在学証明書、その他の者は在籍期間を証明する書類）

③成績証明書

（在学中の者は本年度履修中の科目を確認できる書類も提出してください。）

（理工学部・建築学部・文芸学部・情報学部・農学部・生物理工学部・工学部受験者は、履修済および履修中科目の授業計画（シラバス）を提出してください。（コピー可））

④外国語検定試験証明書

（法学部・経済学部・経営学部・文芸学部・総合社会学部・工学部（みなし得点を利用する場合））

※本学では、入学者選抜の公正性を確保するため、出願時に提出された英語外部試験の成績等について、必要に応じて試験実施団体等へ照会を行い、成績の真正性その他提出内容の確認を行う場合があります。

出願者は、本学が当該確認を行うこと、および確認に必要な範囲において個人情報試験実施団体等へ提供することを同意したうえで出願してください。

なお、照会・確認の結果、提出書類の改ざん、虚偽申告、不正取得その他不正行為が判明した場合は、当該出願に係る受験資格を取り消すほか、合格後または入学後であっても、合格取消または入学許可取消等の措置を講じることがあります。

法学部

TOEFL iBT®、TOEIC® L&R+TOEIC® S&W、IELTS、GTEC (CBTタイプ、検定版)、TEAP 4技能パターン、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（英検®）、いずれかの証明書が必要です。

※証明書は原本のコピーでも可とします。ただし、スコア等が載ったインターネット画面を印刷したものは認められません。

※出願開始日より過去2年以内に受験したものを対象とします。

※実用英語技能検定（英検®）は、有効期限の設定はありません。また、可否にかかわらず指定された級を受験したCSEスコアで得点換算します。

※各種検定試験の得点は、11ページに掲載している換算表に基づいて換算します。

複数種類の検定試験を受験されている場合は、換算表を確認し、最も高得点となる検定試験1種類のみ証明書を提出してください。

〈注意事項〉

- ・TOEFL iBT®テストのTest Dateスコアのみを認めます。(My Bestスコアは利用できません)
- ・TOEIC®の得点はS&W(計400点)を含む4技能(1390点満点)とします。(TOEIC® L&R公開テストのみの受験およびTOEIC® S&W公開テストのみの受験、IPテストのスコアは認められません)
- ・IELTSのスコアは、4技能の平均を示す「Overall Band Score」を使用します。
- ・GTEC(CBTタイプ、検定版)のスコアは、検定受験の「OFFICIAL SCORE」に限ります。
- ・TEAP 4技能パターンのスコアは、4技能パターン(400点満点)に限ります。受験時期の異なる点数の合計では認められません。
- ・ケンブリッジ英語検定のスコアは、「ケンブリッジ英語検定(各レベル検定、for Schoolsバージョンを含む)」ならびに「ケンブリッジ英語検定4技能 CBTリングスキル(以下、リングスキル)」を対象とします。「リングスキル」は試験会場での受験のみ利用可能です。自宅受験の結果は利用できません。
ケンブリッジ英語検定のスコアは「ケンブリッジ英語検定(各レベル検定)」の「Overall Score」および「リングスキル」の「Average Score」を指します。
- ・実用英語技能検定(英検®)は「英検S-CBT®」、「英検S-Interview®」を含みます。提出書類については、「合格証明書」または「CSEスコア証明書」を提出してください。(個人成績表、合格証書は不可)

経済学部・文芸学部

- TOEFL iBT®、TOEIC® L&R+TOEIC® S&W、IELTS、実用英語技能検定(英検®)、いずれかの証明書が必要です。
※証明書は原本のコピーでも可とします。ただし、スコア等が載ったインターネット画面を印刷したものは認められません。
※出願開始日より過去2年以内に受験したものを対象とします。ただし、文芸学部文学科日本文学専攻は、出願開始日より過去3年以内に受験したものを対象とします。
※実用英語技能検定(英検®)は、有効期限の設定はありません。
※文芸学部の各種検定試験の得点は、11ページに掲載している換算表に基づいて換算します。

〈注意事項〉

- ・TOEFL iBT®テストのTest Dateスコアのみをスコアとして活用します。(My Bestスコアは活用できません)
- ・TOEIC®の得点はS&W(計400点)を含む4技能(1390点満点)とします。(TOEIC® L&R公開テストのみの受験およびTOEIC® S&W公開テストのみの受験、IPテストのスコアは認められません)
- ・IELTSのスコアは、4技能の平均を示す「Overall Band Score」を使用します。
- ・実用英語技能検定(英検®)は「英検S-CBT®」、「英検S-Interview®」を含みます。提出書類については、「合格証明書」を提出してください。(個人成績表、合格証書は不可)
- ・複数種類の検定試験を受験されている場合は、それぞれのスコア証明書を提出することができます。そのうち最も評価の高いスコアが、「外国語(英語)」の評価として用いられます。

経営学部

- TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、TOEIC® L&R+TOEIC® S&W、IELTS、実用英語技能検定(英検®)、いずれかの証明書が必要です。
※証明書は原本のコピーでも可とします。ただし、スコア等が載ったインターネット画面を印刷したものは認められません。
※2024年(令和6年)8月以降に受験したものに限り。ただし、英検®については、有効期限を限定しません。
※英検®は、「CSEスコア」で得点に換算しますので、各級の結果が不合格であっても出願は可能です。

〈注意事項〉

- ・TOEFL iBT®テストのTest Dateスコアのみをスコアとして活用します。(My Bestスコアは活用できません)
- ・TOEIC® L&Rについて、IPテストのスコアも対象とします。ただし、オンライン方式のスコアは対象外とします。
- ・TOEIC® S&Wのスコアをお持ちの方は、そのスコアも提出してください。
TOEIC® L&RとTOEIC® L&R+TOEIC® S&Wそれぞれを換算し、評価の高いスコアを採用します。
- ・IELTSのスコアは、4技能の平均を示す「Overall Band Score」を使用します。
- ・実用英語技能検定(英検®)は「英検S-CBT®」、「英検CBT®」、「英検S-Interview®」を含みます。提出書類については、「合格証明書」または「CSEスコア証明書」を提出してください。
- ・複数種類の検定試験を受験されている場合は、それぞれのスコア証明書を提出することができます。そのうち最も評価の高いスコアが、「外国語(英語)」の評価として用いられます。

総合社会学部

TOEFL iBT[®]、TOEIC[®] L&R、実用英語技能検定（英検[®]）、いずれかの証明書が必要です。

※ 証明書は原本のコピーでも可とします。ただし、スコア等が載ったインターネット画面を印刷したものは認められません。

※ 出願開始日より過去2年以内に受験したものを対象とします。

※ 実用英語技能検定（英検[®]）は、有効期限の設定はありません。

〈注意事項〉

- ・ TOEFL iBT[®]テストのTest Dateスコアのみをスコアとして活用します。（My Bestスコアは活用できません）
- ・ TOEIC[®] L&Rについて、IPテストのスコアも対象とします。ただし、オンライン方式のスコアは対象外とします。
- ・ 実用英語技能検定（英検[®]）は「英検S-CBT[®]」、「英検S-Interview[®]」を含みます。提出書類については、「合格証明書」を提出してください。（個人成績表、合格証書は不可）
- ・ 複数種類の検定試験を受験されている場合は、それぞれのスコア証明書を提出することができます。そのうち最も評価の高いスコアが、「外国語（英語）」の評価として用いられます。

工学部

外国語（英語）をみなし得点とする場合、TOEFL iBT[®]、TOEIC[®] L&R、IELTS、実用英語技能検定（英検[®]）、いずれかの証明書が必要です。証明書を提出しなかった場合、試験当日に受験する数学の点数を判定に使用します。

〈注意事項〉

- ・ 証明書は原本のコピーでも可とします。ただし、スコア等が載ったインターネット画面を印刷したものは認められません。
- ・ 出願開始日より過去2年以内に受験したものを対象とします。
- ・ 実用英語技能検定（英検[®]）は、有効期限の設定はありません。
- ・ TOEFL iBT[®]テストのTest Dateスコアのみをスコアとして活用します。（My Bestスコアは活用できません）
- ・ TOEIC[®] L&Rは公開テストのみです。IPテストのスコアは認められません。
- ・ IELTSのスコアは、4技能の平均を示す「Overall Band Score」を使用します。
- ・ 複数種類の検定試験を受験されている場合は、それぞれのスコア証明書を提出することができます。そのうち最も評価の高いスコアが、「外国語（英語）」の評価として用いられます。

【法学部・文学部換算表】

みなし 得点	TOEFL iBT [®] [2026年1月20日 以前の受験者]	TOEFL iBT [®] [2026年1月21日 以降の受験者]	TOEIC [®] L&R + TOEIC [®] S&W	IELTS	GTEC (CBTタイプ、 検定版)	TEAP 4技能 パターン	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 (英検 [®])
100	72	4	総合スコア1095かつ L&R785かつS&W310	5.5	1180	309	160	CSEスコア2300(準1級以上受験)
85	55	3.5	総合スコア885かつ L&R625かつS&W260	4.5	1070	270	150	CSEスコア2150(2級・準1級受験)
70	42	3	総合スコア790かつ L&R550かつS&W240	4.0	930	225	140	CSEスコア1980(2級・準1級受験)

⑤写真

上半身、脱帽、正面向（タテ4cm×ヨコ3cm）で出願時から**3カ月以内**に撮影されたものを、裏面に志願者名を記入のうえ受験副票に貼付してください。（カラー写真に限る。スナップ写真は不可）

⑥振込通知書（本人→大学）

志願票・振込依頼票などを合わせて銀行窓口に出し、収納印を受けてください。

⑦入学検定料 35,000円、ただし産業理工学部は 32,000円

（注）一旦納入された入学検定料は、原則返還いたしません。入学検定料は志願票・振込依頼票等に必要事項を記入のうえ金融機関から電信扱いで振り込みをしてください。ゆうちょ銀行からの振り込みおよび、ATM(自動振込機)からの振り込みはできません。

⑧専修学校の専門課程を修了（修了見込み）の者については、編入学資格証明書 **書式 1** ※も記入し、同封してください。

（注）出願時に、本学通信教育部商経科を卒業または卒業見込みの者で、かつ専修学校の専門課程を卒業または卒業見込みの者は、本学通信教育部商経科の卒業証明書（または卒業見込証明書）および成績証明書を提出してください。

⑨高等学校等の専攻科の課程を修了（修了見込み）の者については、編入学資格証明書 **書式 2** ※も記入し、同封してください。

⑩志望理由書※（法学部・経営学部〔学内入学選考、一般入学選考〕・文芸学部・総合社会学部・農学部・生物理工学部受験者のみ）

（３）出願先

近畿大学編入学試験志願票受付係または、学生センター入試係

（各キャンパス用の宛名ラベル※を印刷し、市販の角 2 封筒に貼付してください。宛名ラベルの印刷ができない方は、市販の角 2 封筒に宛名ラベルの内容を記入してください。）

（４）受験票

後日志願票記載の連絡先に送付します。

※編入学志願票、編入学資格証明書（書式 1・書式 2）、志望理由書、宛名ラベルは、

入試情報サイトの「入試情報・学費」→「入試日程・制度」→「その他の入試制度」→「その他の入試制度詳細（kindai.jp/exam/system/other/）」→「編入学試験」からダウンロードし、記入してください。

〈障がいのある人、不慮の事故による負傷者・疾病者の受験および修学上の配慮に関する申し出について〉

（１）身体機能障がい・発達障がい等、また疾病・負傷により、受験時および編入学後の修学に配慮を必要とする場合は、原則として出願する 1 カ月前までに、各学部学生センター入試係に申し出てください。（改めて、各学部学生センターまたは学生部から連絡いたします。）受験予定のすべての日程で申し出が必要です。事前に診断書等の書類を提出いただくことがあります。なお、申し出が編入学試験の可否に影響することはありません。

（２）出願後の不慮の事故等による負傷・急な疾病等で受験時に特別な配慮と措置を希望する場合は、至急各学部学生センター入試係に申し出てください。

（３）申請に基づいて障がい等の状況に応じた配慮を行いますが、ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。

5. 試験日時

学 部	試 験 日	集 合 時 間
法 学 部	令和 8 年 1 0 月 2 4 日 (土)	午前 9 時 3 0 分までに下記の指定された試験室に集合してください。 ※情報学部のみ午前 9 時までに集合してください。
経 済 学 部	令和 8 年 9 月 1 2 日 (土)	
経 営 学 部 〔学内入学選考・一般入学選考〕	令和 8 年 9 月 1 3 日 (日)	
理 工 学 部 建 築 学 部 文 芸 学 部 総合社会学部 情 報 学 部 農 学 部 生物理工学部 工 学 部 産業理工学部	令和 8 年 1 0 月 1 0 日 (土)	

6. 試験場・試験室

《法学部・経済学部・経営学部・理工学部・建築学部・文芸学部・総合社会学部・情報学部》

東大阪キャンパス〔大阪府東大阪市小若江 3-4-1〕

法 学 部	E キャンパス C 館 1 階 1 1 1 教室
経 済 学 部	E キャンパス B 館 5 階 5 0 2 教室
経 営 学 部 〔学内入学選考・一般入学選考〕	2 1 号館 2 階 2 1 - 2 0 4 教室
理 工 学 部	1 7 号館 1 階 1 7 - 1 0 3 教室
建 築 学 部	3 3 号館 3 階 3 3 - 3 0 3 教室
文 芸 学 部	E キャンパス A 館 4 階 共同演習室
総合社会学部	E キャンパス G 館 3 階 3 0 1 教室
情 報 学 部	E キャンパス E 館 4 階 4 0 1 教室

《農学部》 奈良キャンパス〔奈良県奈良市中町 3327-204〕

農 学 部	新教室棟 3 階 3 1 4 教室
-------	-------------------

《生物理工学部》 和歌山キャンパス〔和歌山県紀の川市西三谷 930〕

生物理工学部	2 号館 2 階 2 5 2 教室
--------	-------------------

《工学部》 広島キャンパス〔広島県東広島市高屋うめの辺 1 番〕

工 学 部	C 館 2 階 2 1 5 教室
-------	------------------

《産業理工学部》 福岡キャンパス〔福岡県飯塚市柏の森 11-6〕

産業理工学部	1 号館 2 階 1 2 0 1 教室
--------	---------------------

7. 選考方法

学科試験・口頭試問（経営学部を除く）および出身学校の成績を総合して合否を判定します。
各学部の試験科目は下記のとおりです。

法 学 部	「外国語（英語）」「法学に関する基礎テスト」「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」 ※「外国語（英語）」の評価については、各種検定等のスコアを利用します。（9ページを参照）	
経 済 学 部	「外国語（英語）」「経済学に関する基礎テスト」「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」 ※「外国語（英語）」の評価については、各種検定等のスコアを利用します。（10ページを参照）	
経 営 学 部 [学内入学選考・一般入学選考]	「外国語（英語）」「経営学、商学、会計学、キャリア・マネジメント学に関する基礎テスト」 ※「外国語（英語）」の評価については、各種検定等のスコアを利用します。（10ページを参照）	
理 工 学 部	「外国語（英語）」「数学」「理科（物理・化学または生物）」 「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」 (注)「理科」について ・「物理」を指定する学科 —— 理学科（数学コース）、理学科（物理学コース）、 機械工学科、電気電子通信工学科、社会環境工学科 ・「化学」を指定する学科 —— 理学科（化学コース）、応用化学科 ・「生物」または「化学」を指定する学科（出願時に選択） —— 生命科学科 ・「物理」または「化学」を指定する学科（出願時に選択） —— エネルギー物質学科 ※受験当日、受験科目の変更はできません。	
建 築 学 部	「外国語（英語）」「数学」「理科（物理）」「口頭試問（専門科目に関する内容を含む）」 (注) 物理の出題範囲…質点力学	
文 芸 学 部	文学科 芸術学科 舞台芸術専攻 文化・歴史学科	「外国語（英語）」「小論文」「口頭試問（志望理由を含む）」
	芸術学科 造形芸術専攻	「外国語（英語）」「小論文」または「実技」（鉛筆デッサン） 「口頭試問（志望理由を含む）」
	文化デザイン学科	「外国語（英語）」「小論文」「プレゼンテーション※1」
	※「外国語（英語）」の評価については、各種検定等のスコアを利用します。（10ページを参照）	
総合社会学部	「外国語（英語）」「基礎テスト（志望専攻に関する内容）※」 「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」 ※社会・マスメディア系専攻（現代社会コース）の基礎テストは、盛山和夫ほか編著（2017）『社会学入門』ミネルヴァ書房の範囲から出題します。 ※「外国語（英語）」の評価については、各種検定等のスコアを利用します。（11ページを参照）	
情 報 学 部	「外国語（英語）※2」「数学」「情報」「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」	
農 学 部	農業生産科学科 水産学科 応用生命化学科 環境管理学科 生物機能科学科 ※外国語については辞書1冊に限り持ち込みを認めます（ただし、電子辞書は不可）	「外国語（英語）」 「生物・物理・化学」から1科目選択 「口頭試問（志望理由を含む）」
生物理工学部	・「外国語（英語）」 ・「理科（生物・化学・物理）」「数学」のうち1科目選択 ・「口頭試問」	
工 学 部	「小論文」「外国語（英語）」または「数学」「口頭試問（志望理由を含む）」 ※「外国語（英語）」の評価については、指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。この制度を利用する場合は、「数学」を受験する必要はありませんが、受験した場合は高い方の得点を採用し判定します。（11ページを参照）	
産業理工学部	全 学 科 共 通	受験当日、受験科目の変更はできません。 「口頭試問（専門科目に関する口頭試問を含む）」 ※建築・デザイン学科の志願者は建築設計製図関連授業の提出課題（複製、写真可）を持参してください（必須）
	生物環境化学科	「外国語（英語）」 「無機化学、有機化学、生物化学・生物学から1科目選択（出願時に選択）」
	電気電子工学科	「数学」・「電気回路」
	建築・デザイン学科	「外国語（英語）」・「構造力学」
	情 報 学 科	「外国語（英語）」・「情報処理概論」
	経営ビジネス学科	「外国語（英語）」・「経営学、簿記・会計学から1科目選択（出願時に選択）」

※1 文芸学部文化デザイン学科の選考方法について

1. プレゼンテーション

「わたしは文化デザイン学科に〇〇をもたらすことができる」というテーマでプレゼンテーションを行ってください。〇〇には任意の言葉を入れてタイトルを完成させ、学科に対する理解、自分の性質、能力、スキル、これまでの具体的な経験や実績を踏まえてプレゼンテーションを行うこと。

発表方法

①パワーポイントによるプレゼンテーション

なるべく写真や画像などを用いて、視覚的にわかりやすく、かつ独創性のある内容にしてください。スライドの枚数は自由。内容もさることながら、スライドの構成やデザイン、話し方も審査対象となります。原稿メモは準備しても構いませんが、基本的には原稿を読まずに審査官の方を向いて話すこと。動画や音声を挿入する場合は、ソフト環境が整ったご自身のパソコンをお持ちください。（試験場のパソコンでは再生できない場合があります。）

成果物や作品現物がある場合は、1、2点に絞って持ち込み可能とします。

（冒頭のスライドタイトルは『わたしは文化デザイン学科に〇〇をもたらすことができる』、その下に氏名を書く。）

②発表時間：10分

③A4用紙1枚のレジュメを作成

2. プレゼンテーションに続いて、質疑応答20分

3. パワーポイントデータ提出について

提出期間：令和8年9月1日（火）～9月11日（金）

提出期間中にパワーポイントのデータを文芸学部HPの〈重要なお知らせ〉に掲載している「【編入学】令和9年度編入学試験 文化デザイン学科パワーポイントデータ提出について」内に記載の提出フォームより提出してください。

（該当ページは出願開始日に公開します。）

文芸学部HP：<https://www.kindai.ac.jp/lit-art-cul/>



なお、動画ファイルや音声ファイルをパワーポイントに埋め込む場合は、パワーポイントのデータだけでなく、元となる動画ファイルや音声ファイルのデータも併せてご提出ください。

※2 情報学部の「外国語（英語）」について

TOEIC® L&R 730点以上の証明書（出願時点で1年以内に限る）を提出すれば、外国語は満点とみなし、外国語の試験を免除します。出願書類に追加してご提出ください。（集合時間の変更があります）

〈不正行為について〉

受験の際は、すべて試験監督者の指示に従ってください。なお、以下に該当する行為が認められた場合は、不正行為となることがあります。

(1) 出願に関する不正行為

本学に提出した出願書類において、偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合。

(2) 試験当日の不正行為

- ・カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ・受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けること。
- ・答えを教えるなど、他の受験者に利するような行為をすること。
- ・使用を認められていない用具を使用して解答すること。
- ・試験の開始・終了の指示など、試験監督者の指示に従わないこと。
- ・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、および定規、コンパス、電卓等の補助具を身に付けていたり手に持っていること。
- ・試験時間中に、携帯電話・時計・携帯音楽プレーヤー等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
- ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

(3) 不正行為に対する措置

上記に該当する不正行為が認められた場合は、ただちに試験の中止と退室を命じ、それ以後の受験はできません。また、すでに受験している当該年度の入学試験もすべて無効とし、以後に実施される当該年度の入学試験の受験は認めません。また、合格発表後または入学後であっても、事実が判明した場合は合格および入学（許可）を取り消します。なお、その場合であっても、提出された書類等、ならびにすでに納入された入学検定料・入学金・授業料等は一切返還しません。

不正行為の状況や悪質性により、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

8. 試験時間割

試験開始から30分を経過した遅刻者は受験できません。

学部	時間	9:00	9:30~10:30 (60分)	10:50~12:20 (90分)		13:10~14:10 (60分)	14:30~
情報学部		集合	外国語（英語）	数 学	昼食	情 報	口 頭 試 問

学部・学科	時間	9:30	10:00~11:00 (60分)	11:30~12:30 (60分)		13:30~14:30 (60分)	15:00~
法 学 部		各 試 験 室 に 集 合	基礎テスト	口 頭 試 問 (志望理由含む)			
経 済 学 部			基礎テスト	口 頭 試 問			
経 営 学 部 (学内入学選考・一般入学選考)			基礎テスト				
理 工 学 部			外国語（英語）	数 学	昼食	理 科	口 頭 試 問
建 築 学 部			小 論 文	口 頭 試 問 (志望理由含む)			
文 芸 学 部	文 学 科						
	芸 術 学 科 (舞台芸術専攻)						
	文化・歴史学科			プレゼンテーション			
文 芸 学 部	文化デザイン学科		小論文または実技	口 頭 試 問 (志望理由含む)			
	芸 術 学 科 (造形芸術専攻)			口 頭 試 問			
総 合 社 会 学 部			基礎テスト	口 頭 試 問			
農 学 部	農業生産科学科		外国語（英語）	「生物」 「物理」 「化学」 から1科目選択	昼食	口頭試問（志望理由含む）	
	水 産 学 科					口 頭 試 問	
	応用生命化学科						
	環境管理学科					口 頭 試 問（志望理由含む）	
生 物 理 工 学 部	生物工学科						
	遺伝子工学科					口 頭 試 問	
	食品安全工学科						
	生命情報工学科					口 頭 試 問（志望理由含む）	
工 学 部	人間環境デザイン工学科						
	工 学 部		小 論 文	数 学		口 頭 試 問	
産 業 理 工 学 部	生物環境化学科		外国語（英語）	「無機化学」 「有機化学」 「生物化学・生物学」 から1科目選択			
	電気電子工学科		数 学	電 気 回 路			
	建築・デザイン学科		外国語（英語）	構 造 力 学			
	情 報 学 科			情 報 処 理 概 論			
	経営ビジネス学科			「経営学」 「簿記・会計学」 から1科目選択			

9. 合格発表

郵送にて通知します。

学 部	合 格 発 表 日
法 学 部	令和8年 11月 7日 (土)
経 済 学 部	令和8年 9月 25日 (金)
経 営 学 部	令和8年 10月 2日 (金)
理 工 学 部 建 築 学 部	令和8年 11月 5日 (木)
文 芸 学 部	令和8年 11月 7日 (土)
総合社会学部	令和8年 11月 6日 (金)
情 報 学 部	令和8年 11月 5日 (木)
農 学 部	令和8年 11月 7日 (土)
生物理工学部	令和8年 11月 6日 (金)
工 学 部	令和8年 11月 7日 (土)
産業理工学部	令和8年 11月 9日 (月)

10. 編入学手続

学 部	手 続 期 間 (消 印 有 効)
法 学 部	令和8年 11月 7日 (土) ～ 11月 27日 (金)
経 済 学 部	令和8年 9月 25日 (金) ～ 10月 16日 (金)
経 営 学 部	令和8年 10月 2日 (金) ～ 10月 16日 (金)
理 工 学 部	令和8年 11月 5日 (木) ～ 12月 3日 (木)
建 築 学 部	令和8年 11月 5日 (木) ～ 11月 17日 (火)
文 芸 学 部	令和8年 11月 7日 (土) ～ 11月 19日 (木)
総合社会学部	令和8年 11月 6日 (金) ～ 11月 20日 (金)
情 報 学 部	令和8年 11月 5日 (木) ～ 12月 3日 (木)
農 学 部	令和8年 11月 7日 (土) ～ 12月 3日 (木)
生物理工学部	令和8年 11月 6日 (金) ～ 12月 3日 (木)
工 学 部	令和8年 11月 7日 (土) ～ 12月 11日 (金)
産業理工学部	令和8年 11月 9日 (月) ～ 12月 11日 (金)

編入学手続に必要な書類一式を合格通知書とあわせて本人宛に郵送します。

上記手続期間内に学費等納入金を銀行振込（電信扱いに限る）により納入し、同時に編入学に必要な関係書類を大学に提出または郵送し、手続きを完了してください。

期間内に手続きを完了しない場合は、合格を取り消します。

11. 編入学後の既修得科目の単位認定について

既に修得している科目の単位は、各学部の定めるところにより認定します。

その際、出身学校の履修要項、授業計画（シラバス）等の提出を求めることがあります。

- (注) 理工学部、建築学部、文芸学部、総合社会学部、情報学部、農学部、生物理工学部、工学部および産業理工学部については、提出された最終の成績証明書をもとに、改めて既修得科目の単位認定を行います。出願時に提出された修得見込科目を含めた成績証明書から科目数および単位数が減少している場合、合格通知書に記載された編入学許可学年とならない場合があります。

12. 入学辞退

入学手続完了者が入学を辞退（学費返還を伴う）される場合は、合格通知書（入学に必要な書類等）に同封いたします「入学手続マニュアル」をご確認いただき令和9年3月31日（水）窓口終了時間までに「入学辞退に伴う学費等返還願」を提出願います。後日、入学金（入学申込金）を除く学費等を返還します。学費等の返還は、4月末日までに銀行振込にて送金します。

入学辞退（学費等返還）に関する問い合わせ（提出）先			
学 部	住 所 ・ 電 話		宛 先
法 学 部	〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1	(06)4307-3041	法学部学生センター入試係
経 済 学 部		(06)4307-3043	経済学部学生センター入試係
経 営 学 部		(06)4307-3045	経営学部学生センター入試係
理 工 学 部		(06)4307-3047	理工学部学生センター入試係
建 築 学 部		(06)4307-3057	建築学部学生センター入試係
文 芸 学 部		(06)4307-3061	文芸学部学生センター入試係
総合社会学部		(06)4307-3062	総合社会学部学生センター入試係
情 報 学 部		(06)4307-3116	情報学部学生センター入試係
農 学 部	〒631-8505 奈良県奈良市中町 3327-204 (0742)43-1849		奈良キャンパス学生センター入試係
生物理工学部	〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷 930 (0736)77-3888		和歌山キャンパス学生センター入試係
工 学 部	〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番 (082)434-7006		広島キャンパス学生センター入試係
産業理工学部	〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森 11-6 (0948)22-5655		福岡キャンパス学生センター入試係

13. 個人情報の保護

本学志願時に志願票に記入いただいた住所、氏名、その他個人情報は、

1. 受験票、合格通知および入学手続書類発送
2. 合格者への下宿案内等、学生生活を始めるために必要な情報の提供
3. 個人を特定しない各種統計資料作成

を行うために利用いたします。

上記1～3の作業は本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「委託業者」）において行います。

業務委託にあたり、記入いただいた個人情報の全部または一部を委託業者に提供することがありますが、上記1～3にのみ利用し、委託業務を超えた利用はありません。

あらかじめご了承ください。

1 4 . 理工学部、工学部受験希望の方へ

JABEE プログラムについて

(1) 日本技術者教育認定制度とは？

大学等の高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準や国際的な要求水準を満たしているかどうかを、外部評価機関である日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education：JABEE 1999 年設立）が評価し、一定水準以上の教育プログラムを認定する専門認定制度です。

(JABEE ホームページ：<https://jabee.org/>)

学問を教えるだけの工学教育から国際的にも通用する技術者を育てる技術者教育への転換を実現するための制度といえます。認定された場合、そのプログラムの修了者は JABEE 認定プログラム修了者であると認定され、次の (2) に挙げるようなメリットがあります。

(2) JABEE 認定プログラム修了者とは？

JABEE 認定プログラムとは社会の要求する技術者教育の基準を満たしているプログラムのことです。したがって、認定プログラムの修了者は、必然的に社会の要求する技術者水準に達していると外部からも評価されることになります。

- ・単なる知識の詰め込みだけでなく、知識を応用する力、コミュニケーション能力、自己学習能力などが強化され、即戦力を期待する社会に自信をもって巣立っていくことができます。
- ・質の高い技術者教育を修了したことが客観的に証明されますので、就職・進学等、修了者は有利な評価を受けることになります。
- ・JABEE 認定プログラム修了者は「修習技術者」となり、国家資格である「技術士」の第一次試験が免除されます。
- ・JABEE は、技術者教育の実質的同等性を国際的に認め合う取り決めであるワシントン協定やソウル協定等に参加しています。したがって、JABEE 認定プログラム修了者は、他の加盟国（アメリカ、カナダ、オーストラリア等）の認定プログラム修了者と同等に評価され、国際的に通用する教育を受けたことが保証されることになります。

(3) 理工学部、工学部の現在の取り組み

理工学部、工学部では、早くから授業評価アンケートや FD・SD 研修会など授業改善に向けた様々な取り組みを続けていますが、JABEE プログラムでは、受講者が、自主性や社会性、専門的な知識の応用力、デザイン能力、問題解決能力、コミュニケーション能力、チームワーク能力などを有していることを要求しています。

また、受講者の学習・教育到達目標を明確にすることや、厳密かつ透明性のある成績評価なども要求されています。さらには、プログラム自体を自己評価し、自ら改善していく仕組みをつくり継続的な活動を行う必要もあります。

これらの要件は、いずれも理工学部、工学部が目指す理想の教育の方向性と完全に一致しており、理工学部、工学部ではこれに近畿大学の「実学重視」の伝統を加味して、JABEE プログラムの要件を満たした学科ごとの新しいプログラムを立ち上げました。

このように、社会の要求する、さらには、国際社会に通用する高い技術者教育の実現を目指す理工学部、工学部のカリキュラムは、学生のみなさんにとっては「厳しい」、「必修科目が多い」といった印象を与えてしまうかもしれません。

しかし、そのようなより高いハードルを設定し、これらを乗り越えるという姿勢こそが、高等教育機関としての大学本来のあり方であり、社会に通用する技術者教育の実現に向けて、これからも理工学部、工学部は努力を続けていきます。

理工学部、工学部のカリキュラムや JABEE プログラムに対する現在の取り組みについては、適宜ホームページで公開しますので、ぜひ閲覧してください。

近畿大学ホームページ (<https://www.kindai.ac.jp/>) から、理工学部、工学部のホームページを参照してください。

(4) 注意事項

① 受験者の在籍している学部・学科・コースのシラバス等を参考に、JABEE 対応およびそれに準じた各学科・コースのプログラムとの整合性を判断した結果、既修得科目の単位認定ができない場合があります。

② 下記の学科・コースでは、必修科目または選択必修科目等の単位認定（互換）のための試験を別途実施する場合があります。詳細については、別途指示します。

理工学部

応用化学科、電気電子通信工学科、社会環境工学科

工学部

化学生命工学科、機械工学科、情報学科、建築学科

15. その他

(1) 編入学手続完了者のうち

① 卒業（修了）見込みで受験した者は、令和9年3月31日（水）（必着）までに卒業（修了）証明書および成績証明書を提出してください。提出のない場合は合格を取り消します。

② 4年制大学の2年次以上修了見込みまたは62単位以上修得見込みで受験した者は、令和9年3月31日（水）（必着）までに成績証明書を提出してください。提出のない場合または取得単位数が満たない場合は合格を取り消します。

※ただし、以下に記載された学部については、提出期限が異なります。

工学部：令和9年3月10日（水）

理工学部・情報学部：令和9年3月11日（木）

農学部：令和9年3月12日（金）

建築学部：令和9年3月19日（金）

文芸学部：令和9年3月20日（土）までに提出してください。

経済学部・経営学部・総合社会学部・産業理工学部：書類（卒業（修了）証明書・成績証明書・在籍期間を証明する書類）の提出については、合格通知書と合わせてお知らせします。

(2) 合格は総合判定のため、志願どおりの学年に許可されない場合があります。

(3) 一度受理した手続書類および入学金は、返還しません。

16. 学 費 等 一 覧 表 (令 和 9 年 度 編 入 学 生 用)

費 目	対 象	法 学 部 経 済 学 部 経 営 学 部 文 芸 学 部 (芸術学科以外) 総合社会学部	理 工 学 部 建 築 学 部 文 芸 学 部 (芸術学科) 情 報 学 部	農 学 部 生 物 理 工 学 部	工 学 部	産業理工学部 (経営ビジネス 学科以外)	産業理工学部 (経営ビジネス 学科)
入 学 金	編入学時 のみ	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
授 業 料 (※前期分)	第3年次	1,145,000 (※572,500)	1,522,000 (※761,000)	1,522,000 (※761,000)	1,458,000 (※729,000)	1,324,000 (※662,000)	949,000 (※474,500)
	第4年次	1,165,000 (※582,500)	1,552,000 (※776,000)	1,552,000 (※776,000)	1,488,000 (※744,000)	1,354,000 (※677,000)	979,000 (※489,500)
学生健保共済会費	毎 年 次	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
編 入 学 時 納 入 金		827,000	1,015,500	1,015,500	983,500	916,500	729,000
第 3 年 次 年 間 納 入 金		1,399,500	1,776,500	1,776,500	1,712,500	1,578,500	1,203,500
第 4 年 次 年 間 納 入 金		1,169,500	1,556,500	1,556,500	1,492,500	1,358,500	983,500

(備 考)

1. 上記学費等は第3学年に編入学を許可された場合の納入金です。なお、本学学園内から編入した場合の入学金は、一律150,000円です。第2学年に編入学を許可された場合は納入金が異なります。
2. 編入学時納入金は入学金、第3年次の授業料〔前期分〕、学生健保共済会費の合計額です。
3. 表示額以外に校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。なお、既に校友会終身会費を全額納めている者は不要です。
4. 工学部では表示額以外に学部学生部会費が必要です(入学年次に10,000円、2年次以降は毎年2,000円)。
5. 総合社会学部総合社会学科心理系専攻では「心理実習」を履修する場合、別途実習費を徴収します。履修者多数の場合は、選抜を実施する可能性があります。
6. 学費等納入金は入学を許可された学年により異なります。
7. 上記費用以外に入学前において、寄付金や学校債のご協力をお願いすることはありません。
8. 入学後には全学でノートパソコンが必携となります。詳しくは、22ページを参照してください。

ノートパソコン必携化について

近畿大学では、建学の精神「実学教育と人格の陶冶」のもと、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成すること」を教育の目的とし、この理念に共感する入学者を国内外から広く受け入れ、皆さんが心ゆくまで学べる環境づくりに全力で取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ目的で、従来の対面授業に加え、メディア授業の利用・促進・普及が急速に進展することとなりました。これからの大学教育は、学生が必要とする時に「いつでも、どこでも」デジタル化された学習コンテンツを利用できる環境で行われるようになり、学生生活をおくる上でパソコンは必携すべきツールとなります。また、本学のアドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）には「社会のニーズに対応できる実学や教養及び国際性を身につけたい人」という項目がございます。それは情報通信技術（ICT）を十分に活用できる能力を有し、Society5.0 やデジタルトランスフォーメーション（DX）といった言葉のもと、今後ますます情報化が進む社会において必要とされる人材となりうる学生を受け入れ、育成するという方針です。

この方針のもと、本学では、オンライン・対面を組み合わせた柔軟な学習環境の整備や、学習教材・レポート等のペーパーレス化を推進しており、ノートパソコンを学生生活における必携ツールと位置づけています。

つきましては、下記の Web サイトにて公開しております学部学科・研究科ごとの性能要件を参考に、ノートパソコンをご準備いただく必要があることをご理解くださいますようお願いいたします。

【学部学科・研究科ごとの性能要件】

<https://www.kindai.ac.jp/for-students/laptop/>

※既に要件を満たすノートパソコンをお持ちの場合は、新たに購入される必要はありません。

1. Microsoft Office について

近畿大学の学生は在学中のみ Microsoft Office 製品をはじめ授業等で利用するソフトウェアを無償でご利用いただけますので、あらかじめインストールされたパソコンをご購入いただく必要はございません。詳しくは下記の Microsoft 製品（Office 等）の利用についてをご覧ください。

Microsoft 製品（Office 等）の利用について：<https://kudos.kindai.ac.jp/ees>

2. ノートパソコンの購入について

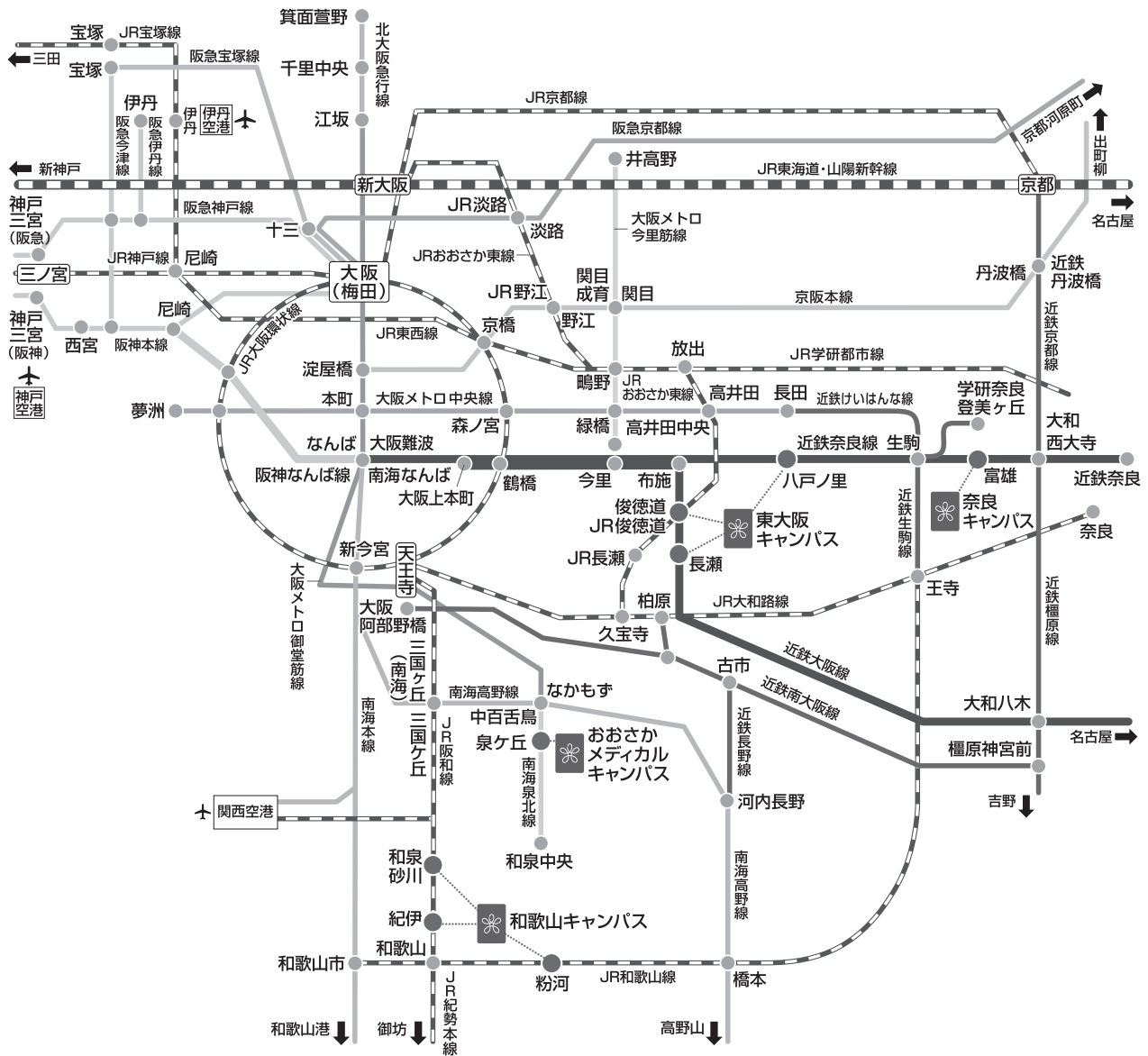
標準スペックを備えたノートパソコンを近畿大学生生活協同組合及び株式会社近大アライブから購入可能です。また、Apple 公式のオンラインストアではアカデミック価格で購入できる専用の Web サイトがございますのでご確認ください。

ノートパソコン必携化に関するお問い合わせ先：

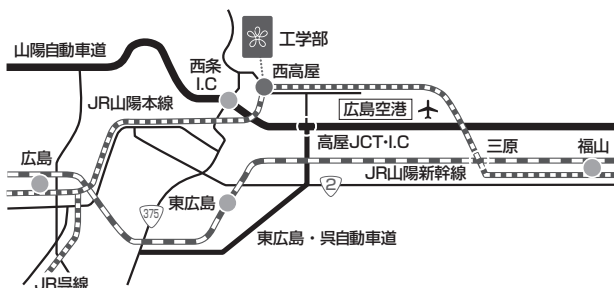
各学部学生センター：<https://www.kindai.ac.jp/contact/#cont02>

アクセスマップ

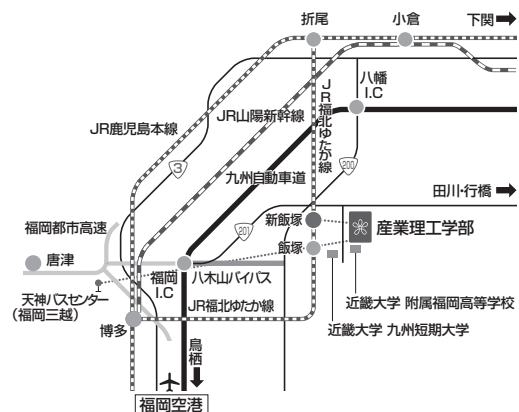
東大阪キャンパス、奈良キャンパス(農学部)、おおさかメディカルキャンパス(医学部、看護学部)
和歌山キャンパス(生物理工学部)



広島キャンパス(工学部)



福岡キャンパス(産業理工学部)



近畿大学（東大阪キャンパス）

法 学 部・経済学部・経営学部・理工学部

建築学部・文芸学部・総合社会学部・情報学部

〒577-8502

大阪府東大阪市小若江 3 - 4 - 1

電話	法学部	(06)	4 3 0 7 - 3 0 4 1
	経済学部	(06)	4 3 0 7 - 3 0 4 3
	経営学部	(06)	4 3 0 7 - 3 0 4 5
	理工学部	(06)	4 3 0 7 - 3 0 4 7
	建築学部	(06)	4 3 0 7 - 3 0 5 7
	文芸学部	(06)	4 3 0 7 - 3 0 6 1
	総合社会学部	(06)	4 3 0 7 - 3 0 6 2
	情報学部	(06)	4 3 0 7 - 3 1 1 6

農学部（奈良キャンパス）

〒631-8505

奈良県奈良市中町 3 3 2 7 - 2 0 4

電話 (0742) 4 3 - 1 8 4 9

生物理工学部（和歌山キャンパス）

〒649-6493

和歌山県紀の川市西三谷 9 3 0

電話 (0736) 7 7 - 3 8 8 8

工学部（広島キャンパス）

〒739-2116

広島県東広島市高屋うめの辺 1 番

電話 (082) 4 3 4 - 7 0 0 6

産業理工学部（福岡キャンパス）

〒820-8555

福岡県飯塚市柏の森 1 1 - 6

電話 (0948) 2 2 - 5 6 5 5